北海道倶楽部
毎月１回１日発行 定価８０円
公益社団法人北海道倶楽部
〒100-0014 東京都千代田区永田町2-17-17 北海道東京事務所1 階
TEL 03-3581-4021 FAX 03-3581-4022
E-mail hkkd-clb@soleil.ocn.ne.jp
http://www.hokkaido-c.or.jp/

We Love Hokkaido 北海道 "NOW" KITAKARA

北海道情報紙 知らないこといっぱい！！

HOKKAIDO CLUB SINCE 1927

鈴木知事 新旧倶楽部会長と面談

「道の政策、協力惜しまない」 小林会長

鈴木直道・北海道知事が8月19、20日、**北海道倶楽部**の小林敬一会長（古河電気工業エグゼクティブ・アンバサダー）、川村隆名誉会長（前倶楽部会長、日立製作所名誉会長）と面談、道、札幌市がともに取り組む副首都指定などについて、倶楽部の協力を求めた。小林会長は「道の政策に協力は惜しまない。どんどん言ってきてほしい」と述べ、支援を約束した。





知事は同20日、古河電工本社（東京）に小林会長を訪問、道が推進する計画全般を説明した＝**写真上**。この中で、千歳市に進出した次世代半導体企業のラピダスを、道内の産業構造を変える起爆剤として高く評価。「ラピダスだけではなく、研究機関の誘致にも努力したい」などと力説した。

小林会長は「知事の話に共感した。倶楽部としてもきちんと対応していく」と応じ、積極的に協力する姿勢を示した。

知事は札幌市と取り組む、副首都指定について「道内は、今後、想定される首都直下型地震、南海トラフ地震などを含め、同時被災リスクが低い」と強みを強調。すでに道庁内に「副首都整備等準備室」、札幌市に「副首都整備等連絡調整班」が設置されており、今後、政府の副首都の決定に向け、努力する考えを示した。

一方、知事はこれより先の同19日、川村・前倶楽部会長と「アイオス永田町」で面談＝**写真下**、川村前会長を慰労した。

知事はラピダス進出、道・札幌市の副首都の指定に向けた、道の取組などを説明。また、うれしいニュースとして、12月から新千歳ーサンフランシスコ便が就航することなどを挙げ、「道民の悲願が実現した」と歓迎した。

川村前会長は鈴木道政を評価しつつ、「道内は人口減が進み、経済も厳しい。主力の農業など一次産業は、気候にも左右される」と道の対応を求めた。

道・札幌市、副首都申請へ 「代替機能の適地」 秋元札幌市長強調

道と札幌市は、大規模災害時に首都機能を代替する「副首都」の指定を目指し、国に申請する方針を固めた。東京から距離があり、同時被災するリスクが低いことなどを、メリットにあげている。札幌市に国の出先機関が集まり、周辺を含む交通インフラが充実していることもアピールする方針だ。

7月24日に成立した副首都関連法は、東京が大規模災害に見舞われた際、立法・行政機能を担う副首都を置くく、という内容。同時に人口や経済の東京一極集中緩和も目指す。政令指定都市と道府県が「連携協定」を結ぶか、政令市を特別区に再編することが条件だ。

札幌市の秋元克広市長は北海道新聞の取材に対し、首都直下型地震や南海トラフ巨大地震を念頭に「首都圏から離れている北海道は、首都の代替機能を果たす適地」と強調。札幌市と周辺には港や空港が複数あることから、「食糧、エネルギーの供給でも十分役割を果たせる」と述べた。

指定により、国の予算や民間投資を呼び込めるとの期待もあり、道と札幌市はすでに6月、副首都構想に関する「連絡調整会議」を設置。鈴木直道知事も「札幌市と連携して国に提案していきたい」と表明している。

副首都指定には大阪府、福岡県、愛知県などが意欲を示している。

交流のタベにぎやかに開催

会員ら60人が親睦を深める

厚谷夕張市長も参加 「来年3月負債返済完了」

会員らが親睦を深める**北海道倶楽部**の「交流のタベ」が8月4日夜、約60人が参加して東京・港区の銀座ライオン新橋店で開かれた。倶楽部が再建を支援する夕張市の厚谷司市長も参加、「来年3月には負債の返済が完了する見通し。これまでの北海道倶楽部の協力に感謝したい」と述べた。



談笑する小林会長（右）と川村名誉会長

「交流のタベ」は倶楽部恒例の真夏のイベント。ビヤホールの日の8月4日に毎年開催している。この日は小林敬一会長をはじめ、有末真哉理事長、川村隆名誉会長（前倶楽部会長）、小池明夫副会長ら理事が出席した。

あいさつに立った小林会長は7月末、発生した熊本地震の犠牲者に哀悼の意を表明、被災者らにお見舞いの言葉を述べた。

北海道の立ち位置について「食糧、観光、再生可能エネルギーなど日本を支える、北海道のポテンシャルは高い。半面、少子高齢化など問題にも直面しているが、倶楽部一丸となって支援し、道民の笑顔を取り戻したい」納孝之・道副知事が、鈴木直道知事のメッセージを代読した。

来年の倶楽部創設100周年を巡っては、夕張メロンをはじめ寿司、ウナギのかば焼きなどの料理が用意され、参加者は舌鼓を打った。各テーブルでは談笑の輪ができ、ある会員は「いろんな人と率直に話をすることができ、いいパーティーでした」。

イベント終了後、厚谷夕張市長自らが、お土産の夕張メロンを参加者に手渡し、夕張支援に感謝した。

と話した。

懇談では有末理事長の発声で乾杯。会場には、夕張メロンをはじめ寿司、ウナギのかば焼きなどの料理が用意され、参加者は舌鼓を打った。各テーブルでは談笑の輪ができ、ある会員は「いろんな人と率直に話をすることができ、いいパーティーでした」。

イベント終了後、厚谷夕張市長自らが、お土産の夕張メロンを参加者に手渡し、夕張支援に感謝した。

★北海道倶楽部会報は、北海道新聞社から記事、写真の協力を得て、作成しています。

10月7日（水）に交流イベント

北海道倶楽部恒例の「交流イベント」は、10月7日（水）午後6時から東京・千代田区のホテルニューオータニ地下1F「麗の間」で開かれる。

倶楽部最大の事業で、会員らが親睦を深めるとともに、倶楽部が取り組む北方領土返還などキャンペーンをアピールするのが狙い。高額商品などが当たる人気の福引抽選会もある。

参加希望者はメール（hkkd-clb@soleil.ocn.ne.jp）かファクス（03・3581・4022）で事務局へ。会費は1万5000円。

知事エッセー ～後志管内で～



北海道知事の鈴木直道です。今回は、後志管内の北海道留寿都高等学校への訪問について紹介します。

留寿都高校は、地域の基幹産業である農業と介護を学べる「農業福祉科」を全国で唯一設置しており、国家資格である介護福祉士の受験資格を取得できる高校として道央圏で唯一の指定を受けるなど特色あるカリキュラムで実践的な教育を行っています。

今回の訪問では、生徒の皆さんと福祉実習でのベッドメーキングなどを体験し、具体的な目標を持って取り組んでいる皆さんの姿を大変頼もしく思うとともに、治田校長から、「唯一無二のカリキュラムや生徒たち自身が考え、実践している取組を通じて、留寿都村や留寿都高校の魅力を全国に広めていきたい。」とのお話を伺うなど学校が地域の未来に向けて取り組んでいることを実感しました。



生徒の皆さんが、充実した学校生活を送り、北海道の未来を支える人材として活躍されることを心から期待するとともに、道としては、これからも、地域課題の解決に向け、関係する皆様と連携し、留寿都高校をはじめとした地域の特色ある取組を応援してまいります。

ふるさとの本ご案内 北海道新聞社

観て学ぶ、触れて感じるためのガイドブック
大地が躍動！ 日高・十勝の地形と地質
前田寿嗣 著 A5判 176頁 定価1980円
日高山脈はプレートが衝突してできた！ 十勝平野北部には厚い火山灰層が。身近な大地の成り立ちを実感できる21コースを紹介。

誕生から20年、ロングセラー絵本
北海道 わくわく地図えほん 第2版
文・絵 堀川真／北海道新聞社 編
A4変型判 48頁 定価1650円
子どもから大人まで楽しめる地図えほん。各地方の特産物、方言など情報がもりだくさん。巻末には「カントリーサイン」を収録。

北海道新聞社出版センター 〒060-8711 札幌市中央区大通東4丁目1
TEL 011-210-5744 受付 9：30～17：30（土日・祝日を除く） 価格は税込
出版センターにお電話いただければ直接手配もいたします(代引き・送料別途)
お求めは書店またはインターネットで

秋サケ釣りオホーツク東部で規制へ

今季の不漁予測受け

「1人3匹まで」

今季、秋サケの極端な不漁が予測される中で、網走海区漁業調整委員会は網走市とオホーツク管内斜里町、小清水町のオホーツク東部海域で、9月1日から、秋サケ釣りの上限を「1人当たり1日3匹まで」などとする海区委員会指示を出す方針を固めた。

指示は漁業法に基づく措置で、違反者には罰則も設けられている。道によると、海岸でのサケ釣りを規制するのは全国初のケース。

期間は11月30日まで。一度に使える釣りざおは1人3本までで、釣り上げたサケのリリースも原則禁止する。違反者には1年以上の拘禁刑か、50万円以下の罰金を科す。

オホーツク東部海域の秋サケ来遊数は2025年、208万匹でピークの04年から86％も減少した。道立総合研究機構さけます内水面水試（恵庭）が、まとめた今秋の来遊予測では、さらに前年実績比62・8％減の77万匹に減る見通しだ。

同海区来遊数は道内で最も多く、秋サケのシーズンには全国から釣りファンが殺到する。

これに伴い、多くの釣りざおで大量のサケを釣るなどのマナー違反も常態化。1市2町は24年、それぞれ独自のルールを策定し、釣りざおの本数や、釣れるサケの数に上限を設定したが、地元からは罰則導入を求める声が上がっていた。



秋サケを狙い釣りざおが林立する網走市の海岸（北海道新聞社提供）

事故も発生。21年11月には釣り人3人がゴムボートから転落、1人が死亡した。このため道は、プレジャーボートなどの乗り入れを禁止する、「水域利用調整区域」に網走市沿岸を追加している。

道内ふるさと納税25年度も全国1

7年連続、白糠町は市町村別で2位

総務省が発表したに次いで寄付額が多かったのは、根室管内別海町の2211億5500万円で4位。9位に紋別市（122億6300万円）、10位に根室市（124億7300万円）と道内自治体への寄付が前年度比4.9％増の1887億6500円となった。過去最高で、都道府県別で7年連続全国1位となった。市町村別では釧路管内白糠町が223億2900万円を集め、全国2位だった。

それによると、全国の寄付総額は前年度比4.6％増の1兆3314億円で、6年連続過去最高を更新、3年連続で1兆円を突破した。

道内市町村で、白糠町体以外の自治体に寄付したふるさと納税制度による寄付額は、道内自治体への寄付が前年度比4.9％増の1887億6500円となった。過去最高で、都道府県別で7年連続全国1位となった。市町村別では釧路管内白糠町がやイクラのしょうゆ漬けの人気が高かったという。

全国トップは大阪府泉佐野市の230億3900万円、3位は宮崎県都城市の216億4600万円、いずれも「常連」だ。

ふるさと納税で居住自治体以外の自治体に寄付したことで、住民税が控除される税額控除の適用者は1151万4000人。控除額は9524億4000万円で、ともに過去最高に。

居住自治体にとって、税収減を意味する控除額は、最多の横浜市が373億3000万円、札幌市は109億6800万円で全国9番目に多かった。

小樽市長に迫氏
無投票で3選

任期満了に伴う小樽市長選は8月2日告示され、無所属で現職の迫（はざま）俊哉氏（67）以外に届け出がなく、無投票で3選が決った。迫氏は自民、立憲民主、公明の推薦を受けていた。

道内の人口10万人以上の市長選で無投票は、2018年の苫小牧市長選以来。迫氏は高崎経済大卒、小樽市役所入りし、総務部長、市教委教育部長、市企画政策室長などを歴任した。

病気に強いホップを開発

2027年から上富良野町などで栽培

サッポロビール（北海道倶楽部会員）が、上川管内上富良野町の研究所で、気候変動に対応する新しいホップを開発した。温暖化で被害増が懸念される、「うどんこ病」にかかりにくい特徴があり、6月、農林水産省へ品種登録を出願した。2027年から同町などの契約農家に委託し、商業栽培を始めたい考えだ。



開発したホップ「フラノ２００４Ｂ号」（北海道新聞社提供）

ホップはビールの味（苦み）や香りの決め手となるツル性植物。このほど同社が開発したのは「フラノ２００４Ｂ号」という名称で、既存品種の「フラノスペシャル」と、うどんこ病に耐性がある海外品種をルーツに持つ。

うどんこ病は一般的には農薬を散布して、発生を抑えるが、今後、農薬への規制強化が予想されるため、持続的な病害対策が求められていた。

そこでサッポロビールは２０１７年から開発に着手、苦みと病気への強さという、二つの特徴を確認した。７月末には上富良野町の研究所で、生育中の２００４Ｂ号が公開され、同社原料開発研究所は「今後は他の気候変動対応品種の開発も進めていきたい」と意欲を見せた。

同社は２０３５年までに気候変動に適応したホップや大麦の実用化を目標に掲げる。24年には雨に強い大麦の開発に成功、品種の登録や商業栽培に向けた準備を進めている。

サッポロビール

マイル方式導入
エア・ドゥ9月から

北海倶楽部会員）は9月から、利用に応じて無料航空券と交換できる「マイル方式」を導入する。購入ごとに1ポイントを付与。主要路線の羽田ー新千歳間の航空券は1800ポイント（通常期）で交換できる。

日本航空（ＪＡＬ）や全日空（ＡＮＡ）などのマイル方式とは一線を画した形で、現在の会員数は117万人超に上る。

今回のマイル方式への変更は、世界的に主流な仕組みに変えることで、他社を日常的に利用する顧客にもアピールし、新規に取り込む狙いがある。導入は9月29日の予定だ。

ためたマイルは、羽田ー新千歳（7000マイル、通常期）などの航空券の交換に加え、同社運営のオンラインショップの割引にも使えるという。マイルは条件付きで家族間での合算も可能だ。

日本の国内線はコロナ禍以降、大手を含め価格競争が激化する一方だ。リピーターの獲得が急務で、エア・ドゥは「新制度でファン層を拡大したい」と話している。

AIRDO（エア・ドゥ、



マイル方式を導入するエア・ドゥ（北海道新聞社提供）

札幌市長選荒井氏出馬へ
自民独自候補擁立か
国政与野党対決の公算



中道改革連合の荒井優氏（51）＝写真、**北海道新聞社提供**＝が、来春の札幌市長選に出馬する意向を固めた。無所属で立候補する予定で、近く中道を離党する方向だ。自民党は独自候補を擁立する方針で、国政与野党による対決の構図となる可能性が高まっている。

荒井氏はすでに一部支援者や、中道と立民の幹部に立候補の意向を伝えたという。

秋元克広札幌市長（70）の路線を継承しつつ、観光やエネルギー、文化などの分野で、札幌の価値向上や人材育成などを訴えると見られる。

荒井氏は札幌市出身。通信大手ソフトバンク勤務や札幌新陽高校長を経て、2021年の衆院選北海道3区に立憲民主党公認で出馬、比例復活で初当選した。24年衆院選では、小選挙区で当選。中道から立候補した今年2月の衆院選では落選した。父は荒井聡元国家戦略担当相。

北海道新聞社の本

★北海道 森と湖の日々
水越武　著　Ｂ５変型判　１６０頁　定価３５２０円

阿寒摩周国立公園周辺の色彩美を著者ならではのまなざしで伝える写真集。世界でも稀有な自然度を残すこの地での暮らしを、厳選した写真90点と日記で構成する。



★レプンユカラ 北の海に伝わる物語
茂野優太　著　Ｂ５変型判　１６０頁　定価３３００円

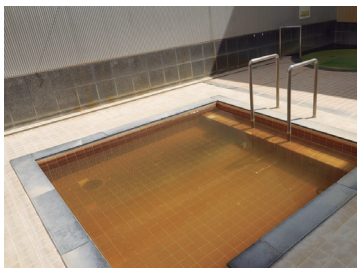
知床、宗谷岬、積丹岬、函館、支笏湖、洞爺湖の水中風景220点を収録。気鋭の水中写真家が斬新な視点で紡いだ北の海の写真集。

★北海道コンサドーレ札幌オフィシャルガイドブック2026／27
北海道新聞社　編／コンサドーレ　監修　Ａ４判　１０４頁　定価１６５０円

サッカーJ2・北海道コンサドーレ札幌の全選手を紹介する公式ガイドブック。クラブは創設30周年を迎え、２０２６／２７シーズンでのＪ１昇格を目指す。

むかわ町のご紹介

「清流と恐竜と健康のまち むかわ町」観光スポット





○道の駅むかわ四季の館

国道235号沿いに位置する道の駅で、観光客から地域住民にまで愛される複合施設です。約200台が駐車可能な広大な駐車場や、24時間利用可能なトイレといった道の駅機能に加え、温泉、ホテル、スポーツ施設、図書館などを備えた充実の設備が魅力です。

館内の温泉は湯冷めしにくい強塩泉が自慢で、体の芯から温まると評判です。露天風呂やサウナで旅の疲れをゆっくりと癒やすことができます。さらに温水プールや機材が充実したトレーニングジムも完備されており、健康づくりやリフレッシュに最適です。

道の駅に併設された「ホテル四季の風」に宿泊すれば、時間を気にすることなく温泉やグルメを満喫できます。宿泊者専用の展望風呂もあり、天気の良い日は窓から太平洋が一望できます。

また、館内の物産館では、むかわ町の特産品である「ししゃも」を購入することができます。道の駅オリジナルの「ししゃも醤油」「ししゃもの昆布巻き」などのユニークな商品も取り扱っています。

その他にも館内には地元食材を使用したメニューが魅力のレストラン「食事処たんぽぽ」があります。むかわ町はホッキも有名ですので、地元産のホッキを使った「ホッキ丼」「ホッキフライ」は絶品です。ぜひ一度ご賞味ください。

○穂別恐竜博物館

むかわ町穂別地区からは、クビナガリュウやアンモナイトなど、これまで数多くの化石が見つかっています。その化石を収蔵・展示するのが「穂別恐竜博物館」です。化石を通じて、穂別地区の土地の成り立ち、生命の歴史を紹介しています。

穂別恐竜博物館がリニューアルオープンしたのは2026年4月です。日本では6番目、北海道では初の、恐竜をメインテーマにした博物館です。新たに「恐竜館」がオープンし、これまでの博物館施設は「海洋化石館」と名前を変え、展示棟が2館となりました。

「恐竜館」は、世界唯一の「カムイサウルス」実物化石を展示しています。全長8mの70%が発見された日本国内で最大・最高の恐竜全身骨格化石の全てを、透明なアクリル板に乗って真上から見ることができます。カムイサウルスの発掘調査についても、実際に使用された道具などによって知ることができます。

さらに、カムイサウルスを捕食していた肉食恐竜の代表として、ティラノサウルスの全身復元骨格レプリカもあります。カナダで発見された「スコッティ」という最大・最重量級の標本を元にした全身骨格を見ることができるのは、日本ではここだけです。





「海洋化石館」では、これまで通り、穂別博物館開館のきっかけとなったクビナガリュウ「ホベツアラキリュウ」の全身復元骨格レプリカのほか、モササウルス類、化石ウミガメ、数多くのアンモナイトが展示されています。海だった穂別地区で生きていた生物について、その実物化石や復元骨格レプリカによって学ぶことができます。

「恐竜館」と「海洋化石館」の展示を見て、「白亜紀の陸と海」について学び、地球の歴史と生命の移りかわりについて知っていただけたなら幸いです。

○穂別キャンプ場

「できるだけ自然のままで」をコンセプトとした、深い森と清らかな川に抱かれた道内屈指のアウトドア施設です。道東自動車道のむかわ穂別ICから車で約10分というアクセスの良さでありながら、一歩足を踏み入れれば、日常の喧噪を忘れさせる広大な自然が広がっています。

広大な敷地内には、キャンパーのスタイルに合わせて選べる多彩な宿泊設備が整っています。自然をダイレクトに感じる芝生のフリーテントサイトをはじめ、快適に過ごせる電源付きのオートサイト、大小様々なバンガローを完備しています。中でも、木々の間に浮かぶように建てられた「ツリーハウス」は、まるで秘密基地のようなワクワク感を味わえると利用者から絶大な人気を集めています。

キャンプ場内には穏やかな浅瀬の川が流れており、夏場は水遊びや小さな生き物観察を楽しむ子どもたちの歓声が響き渡ります。また、周囲に街灯りがないため、夜になると空一面に満天の星が広がります。澄み切った空気の中、焚き火の炎を囲みながら見上げる星空は、忘れられない思い出になります。

水洗トイレや炊事場などの設備もきれいに管理されており、初心者からベテランキャンパーまで安心して利用できるのも魅力です。



むかわ町へのアクセス

URL：https://www.town.mukawa.lg.jp/1119.htm



市町村から

○イベント情報（むかわグルメフェスタ）

令和8年9月3日（日）に、むかわ町役場の駐車場を会場として「第12回むかわグルメフェスタ」を開催いたします。

会場内には、むかわ産の食材を使用した飲食出店が数多く並び、むかわグルメを堪能できるイベントとなっております。他にもプロ野球・北海道日本ハムファイターズの公式チアリーディングチーム「ファイターズガール」のダンスステージや、札幌市出身の3人組バンド「HAMBURGER BOYS」のライブなどステージ企画も魅力満載です。

むかわグルメフェスタのオリジナル競技、来場者が参加可能な「ほっきつかみどり選手権」も開催します。ぜひ会場に足をお運びください。

○未来につなぐ鵡川ししゃもプロジェクト

むかわ町の特産品として全国的な知名度を誇るのが「鵡川ししゃも」です。

むかわ町では、町魚であるししゃもを未来につなぐため「未来につなぐ鵡川ししゃもプロジェクト」を展開しており、1月1日を「むかわ町ししゃもの日」と定め、完干ししゃもの無料配布を行うほか、町が送料を支援する鵡川加工ししゃもの特別販売、秋に開催されるイベントでの焼きししゃもの無料配布など、鵡川ししゃものさらなる知名度向上に向けた取組を行っています。

これからも鵡川ししゃもの応援をよろしくお願いいたします。



○タウンプロモーションの取組み

むかわ町では、まちの認知度向上や「むかわブランド」の確立を図るとともに、戦略的かつ継続的な情報発信を推進しています。また、町民の誇りや愛着心の醸成を通じて、「住みたいまち」「住み続けたいまち」「訪れたいまち」の実現を目指し、タウンプロモーションの取組を進めています。

その取組の一つとして、「code:831（コードハチサンイチ）プロジェクト」を実施しています。本プロジェクトでは、北海道鵡川高等学校で行われている探究学習「むかわ学」において特別講座を開設し、人気ゲームクリエイターをはじめ第一線で活躍する専門家から学ぶ先進的なカリキュラムを企画・実施しています。

令和7年度の特別講座では、プロのクリエイターと連携し、むかわ町の特産品であるホワイトアスパラとスティックブロッコリーをモチーフとして誕生したタウンプロモーション公式キャラクター「むかわ白穂（しらほ）ちゃん」と「むかわ緑（みどり）ちゃん」を活用したCG映像の企画・制作に、鵡川高校の生徒が取り組みました。

また、生徒たちは映像制作だけでなく、キャラクターの声優オーディションの企画・運営にも携わりました。オーディションは北海道内在住者を対象に実施され、多数の応募者の中から選ばれた声優による収録現場にも立ち会うなど、通常の学校教育では得難い実践的なクリエイティブ活動を経験しました。

こうした取組を紹介するプロモーション動画や制作したCG映像を活用しながら、今後は公式キャラクターをはじめとするコンテンツを通じて、むかわ町及び北海道鵡川高等学校の魅力を広く発信してまいります。

地域の魅力と高校生の挑戦を全国へ届けることで、関係人口の創出や交流人口の拡大につなげてまいります。

移住等について

○むかわ町の移住促進関連施策について

むかわ町では令和5年度からの移住定住促進支援事業の実施により、町内に新築アパートが増加するなど、住環境の整備が非常に進んでいます。

また、むかわ町は「0歳～2歳までの保育料無償化」「高校卒業までの子どもの医療費還元」「おむつ用ごみ袋の配布」「多機能型子育て支援施設の設置」など、手厚い子育て支援施策に取り組んでいます。

仕事の面では、充実した研修・サポート体制により、独立就農を目指すことができます。むかわ町では、農業者や町、農協など関係機関が一体となり、相談から農業体験、実践研修、就農までを一貫してサポートしています。

その他、むかわ町では地域おこし協力隊を積極的に活用しており、町と隊員とが連携した中で、地域振興に取り組んでいます。各隊員は「高校魅力化」「部活動地域展開」「デジタル技術を活用したまちづくり」「地元企業の新たな取り組み」など多様なミッションに取り組んでいます。

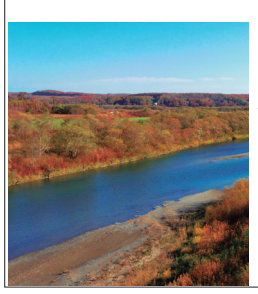


○むかわ町の企業誘致施策について

むかわ町では「むかわ町未来創造企業立地支援条例」に基づき、充実した優遇制度により企業活動をサポートしています。

むかわ町内に事業場の新設または増設する企業に対し、固定資産税の課税免除（土地を除く）・雇用助成金の交付・施設用地取得補助金の交付・環境配慮型施設整備助成といった支援を行っています。

（移住担当課：総合政策課　0145-42-2416）



ふるさと納税

○むかわ町のふるさと納税

むかわ町では、ふるさと納税制度が始まった平成20年度からふるさと納税寄附受付を開始しました。それ以来多くの方々から温かい応援をいただいてきました。特に、平成30年9月6日に発生した北海道胆振東部地震により町が甚大な被害を受けた際には皆様の多大なるご支援により復旧・復興を中心とした町作りを推進することが可能となりました。これまで応援していただいた皆様への感謝の気持ちを忘れず寄附者様の思いも含め、むかわ町は単なる復旧に留まることなく、その先の未来に向けた創造的な復興を目指し、これからのまちづくりを進めています。

むかわ町ふるさと納税の詳細については、町のホームページまたは各種ふるさと納税ポータルサイトをご覧ください。

（ふるさと納税担当課：総合政策課　0145-42-2416）

※掲載されているイベント情報は諸事情により開催日程の変更、中止の可能性があります。ご了承ください。

●お問い合わせ　むかわ町役場
〒054－8660　北海道むかわ町美幸2丁目88番地
TEL：0145－42－2411（代表電話）　FAX：0145－42－2711
E-mail：keizai@town.mukawa.lg.jp
公式ホームページ：https://www.town.mukawa.lg.jp/

公益社団法人北海道倶楽部
創設100周年記念　寄附金募集のお願い

平素より、当法人の活動に対しまして格別のご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、当法人は昭和２年（1927）に新渡戸稲造博士らにより創設され、令和９年（2027）に100周年という大きな節目を迎えることとなりました。この長きにわたる歩みは、ひとえに皆様の温かいご支援とご協力の賜物であり、心より感謝申し上げます。

この記念すべき年を迎えるにあたり、当法人では令和９年（2027）から「創設100周年記念事業」を実施し、これまでの活動の成果を振り返るとともに、次の100年へとつながる持続可能な公益活動の発展を目指し、寄附金の募集をおこなっております。

既に多くの皆様にご支援をいただき、８月号では感謝の気持ちをこめ、ご寄附いただいた皆様のお名前を掲載いたしました。来年１月号でもご寄附いただきました皆様のお名前の一覧を再掲載させていただく予定でおります。この寄附金の募集期間は来年（2027）12月末日となっております。

また新会長、新理事長をはじめとした役員が訪問させていただき、趣旨をご説明させていただくこともやぶさかではございませんので、どうぞお申しつけください。皆様のより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

寄附金は公益充実資金として取り扱いをいたします。
詳細は以下ホームページからご確認いただけます。
http://www.hokkaido-c.or.jp/_jump/ 寄付 / 寄付のお願い .html
右のQRコードもご利用ください。

寄附金特設ページ　　寄附金募集（趣意書）

ご寄附をいただき、ありがとうございます。（8月号一覧掲載以後にご寄附をいただきました。）

積水化学工業株式会社　様　　日本ハム株式会社　様

寄附者59名　寄附金総額　38,513,000円（2026年8月26日現在）

新会長



小林　敬一

北海道倶楽部は、まもなく１００周年を迎えます。この歴史を守るだけでなく、次の１００年へどう繋ぐか。北海道は今、食料、エネルギー、ＧＸ、観光など、日本の未来を支える大きな可能性を持つ地域へと変わりつつあります。だからこそ、北海道倶楽部もまた「親睦の場」に留まるのではなく、北海道と日本の未来に貢献する存在へと進化していかなければなりません。皆さまと共に歴史を紡ぎ、未来を創っていきたいと思います。

長い間倶楽部を支えてきた会員の皆さまに、新会員の皆さまも加わっていただき、より一層発展させ、倶楽部の役割を深め、公益事業を推進して参りましょう。

北海道倶楽部 100年を超えて次の未来へ

新理事長



有末　真哉

北海道倶楽部創設から１００年の歴史は平坦な道のりではありませんでしたが、倶楽部が現在まで発展を遂げることができたのは創設以来会員として活動に参画してこられた先輩各位のご尽力のおかげであります。先輩方からその志を受け継いだ今、まずは１００周年記念事業に取り組み、合わせて次の１００年においても倶楽部が引き続き発展を遂げられるよう、会員数増加、財務基盤強化、運営インフラ整備などの課題に着実に取り組んでまいります。

会員の皆さまのご協力が非常に重要かつ不可欠です。皆さまのご支援を力に、小林新会長とともに北海道倶楽部の発展に尽力し、北海道振興に寄与してまいる所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

本年３月11日に会長、理事長が交代いたしました。６月号で小林敬一会長、７月号で有末真哉理事長のご挨拶を掲載いたしました。全てのご挨拶は右のQRコードから会報をご覧ください。

北海道倶楽部 第60回交流イベントのご案内　会員の皆様に９月１日でご案内を発送しております。

日時　2026年10月７日（水）　18：00から20：00
場所　ホテルニューオータニ　麗の間

ぜひご予定ください。

道内

訪日客のレンタカー事故が増加

富良野地方では死亡事故

道と道警 標識に英語表記も

訪日客（インバウンド）が運転するレンタカーの事故が、道内で増えている。7月には少なくとも富良野地方で2件発生、1人が死亡、10人がけがをした。交通標識や事故多発地点に関する、注意喚起が十分に浸透していないことが原因と見られ、道警は対策を急いでいる。



訪日客ら6人が死傷した富良野市の事故（北海道新聞社提供）

道警によると、2026年上半期（1～6月）にレンタカー運転手の過失が最も重い「第1当事者」となった人身事故は25件で、前年同期より9件増。昨年1年間の28件に迫る増加ぶりだ。

25件の主な事故原因は、積雪路面でのブレーキやハンドル操作のミスが8件で最多。次いで一時不停止5件、信号無視4件などで、景色やカーナビに気を取られ、信号や標識を見落とすケースが目立つという。

7月20日には、富良野市の国道で中国籍で香港在住の4人が乗ったレンタカーと乗用車が正面衝突、レンタカーの女性（53）が死亡した。富良野署はレンタカーが対向車線にはみ出したとみて、調べている。

また、同16日には上川管内上富良野町のJR富良野線の踏切内で、中国籍の男性が運転するレンタカーが列車と衝突、レンタカーの5人が搬送された。

訪日客の事故増加を受け、道と道警は上川管内で一時停止標識に英語で「STOP」と併記する取り組みを始めた。昨年、事故が目立った富良野・美瑛圏などの30～40カ所に設置し、今後、全道への拡大を目指す計画だ。

道警交通部は「レンタカー会社などと連携し、訪日客への注意喚起を強めたい」と話している。

北海道地区レンタカー協会連合会（札幌）によると、25年度の訪日客向けの貸出数は、前年度比13％増の16万8812台。時間や場所に縛られず、自由に観光が楽しめるのが強みで、コロナ禍前の18年度と比べて7割も増えた。

高木美帆さんに国民栄誉賞

五輪で10個のメダル 女子選手では最多

昨季限りで引退した、スピードスケート女子ダリストの高木美帆さん（32）＝十勝管内幕別町出身＝に、政府は7月28日、国民栄誉賞を授与した。冬季五輪の女子選手の受賞は初めて。

高木さんは2010年、バンクーバー五輪で日本スピードスケート史上最年少の15歳で代表入り。五輪は4大会に出場し、獲得メダル数は、夏季を含む日本女子選手で最多の10個に上った。

1500㍍の世界記録保持者で、短距離から長距離まで滑るオールラウンダーとして活躍。2月のミラノ・コルティナ五輪では、銅メダル3個を獲得、3月、引退を表明した。

国民栄誉賞は1977年創設された。これまでにフィギアスケートで五輪連覇を果たした、羽生結弦さんら、個人27人と1団体が受賞している。高市早苗首相は5月に高木さんへの授与を検討するよう政府内で指示し、関係者に意見を聴いてきた。

北海道mei-jiカップ

吉澤選手が優勝

道内勢阿部選手が8位タイ

北海道文化放送、北海道新聞社（いずれも北海道倶楽部会員）主催で、明治グループが特別協賛する女子プロゴルフの北海道meijiカップは、8月7～9日、北広島市の札幌国際カントリークラブ島松コースで行われ、吉澤柚月選手（北広島市出身）がイーブンパーで17位タイだった。

道内勢では阿部未悠選手（恵庭市出身）が3アンダーで8位タイ、小祝さくら選手（北広島市出身）がイーブンパーで17位タイだった。

賞金は1620万円を獲得した。

10月23日（金）に北星会5組20人を募集

ゴルフの第224回北星会は10月23日（金）、我孫子ゴルフ倶楽部（千葉県）で開かれる。参加希望者は10月6日までに倶楽部事務局へファクス（03・3581・4022）かメール（hkkd-clb@soleil.ocn.ne.jp）で。

当日は北海道倶楽部会長杯の取り切り戦が行われる。参加希望者は10月6日までに倶楽部事務局へファクス（03・3581・4022）かメール（hkkd-clb@soleil.ocn.ne.jp）で。

札幌への市民評価は72点に

インターネット調査

札幌に対する市民評価は7割超え―札幌市内の企業が20～80代の市民1000人を対象に札幌のまちを100点満点で評価してもらったところ、平均点は72・1点となった。20～40代で比較的評価が低く、10年後の札幌については「良くなる」が3割にとどまった。



札幌市民の憩いの場大通公園。市民の人気が高い

50代以上が高得点

広告代理店のトリプルワンが7月、インターネットで調査した。地域の可能性を官民が考える基礎データにするのが目的だ。

それによると、札幌の評価が高かったのは、主に50代以上。札幌の魅力は「暮らしやすさ」「食・グルメ」「自然の豊かさ」の順。

一方、課題は「雪・除排雪対策」が50・4％と断トツ。次いで「物価高・生活コスト」18％、「給料・雇用」6・9％となっている。市長への期待では、「経済・雇用対策」30・3％、「雪・除排雪対策」23・1％、「リーダーシップ」14・8％。最も重要な人口減対策を尋ねたところ、36・8％が「賃上げ」と答えた。

冬季間、市民を悩ませる除排雪への問題意識が高いのに加え、経済対策を訴える声が多く、現役世代の暮らしの不安、不満を反映している。

調査結果について、同社は「多くの市民は暮らしやすいとして、札幌を高く評価する一方、将来不安の声も多い。現状維持ではなく、課題を解決するまちづくりが期待されている」と、分析している。

魅力は「暮らしやすさ」「食・グルメ」 課題は「除排雪対策」「物価高」

10年後の札幌「良くなる」は3割



北斗声

▼ロシアのプーチン大統領が8月13日、北方領土・択捉島を訪問した。ロシアの国家元首としては、2010年のメドベージェフ大統領（当時）以来、16年ぶりだ。北海道新聞は「ウクライナ侵攻後、冷え込んだ日ロ関係のさらなる悪化は必至」と伝えている。

▼**北海道倶楽部**はキャンペーンの最優先事項として、「北方領土返還」を掲げている。ビザなし交流で会員が領土を訪れたこともあった。それだけに「領土交渉はもう存在しない」と宣言したような今回のプーチン氏の電撃訪問は、残念としか言いようがない。

▼なぜ、今なのか。道新はウクライナ侵攻の長期化で国内の厭戦気分が高まる中、「強い大統領として国民にアピールする思惑がある」と指摘する。ロシアにとって「対日関係への配慮はもう不要」というわけだ。

▼元島民や返還運動関係者の間には、怒りの輪が広がった。石垣雅敏・根室市長は「原点の地の市民として、返還を願う思いを逆なでするもの」と憤る。鈴木直道・道知事も「日本の一貫した立場と相いれず、断じて受け入れられない」。

▼さて、高市早苗政権の対応は？このままでは領土交渉を含め、日ロ対話の再開は全くおぼつかない。（北）

豪華景品があたる！
大抽選会・スタンプラリー開催

30th ANNIVERSARY

北海道 産直フェア

同時開催

国内最大級の屋外型
北海道物産イベント

第36回 北海道フェアin代々木

ザ・北海食道®
The Road of Hokkai-Foods

開催期間

2026.10.1(木)～10.4(日)
10:00～18:00
（飲食ブースは19:00まで。ただし、最終日は18:00まで）

会　　場

代々木公園Ｂ地区イベント広場
ふるさと会連合会ゾーン
（JR山手線原宿駅、東京メトロ千代田線・副都心線明治神宮前（原宿駅）、東京メトロ千代田線代々木公園駅、小田急線代々木八幡駅より徒歩10分）



【主催】北海道フェアin代々木実行委員会　　【後援】北海道　（公社）北海道倶楽部
【運営】北海道ふるさと会連合会　　【協力】経済産業省北海道経済産業局

HOKKAIDO CLUB SINCE 1927

北海道 "NOW" information KITAKARA